

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	赤衣病	赤星病	斑落葉病	褐斑病	黒星病	黒点病	すすり点病	すすり斑病	モニア病	輪紋病	白紋病	紫紋病	うどんこ病	炭疽病	腐らん病	灰色かび病	銀葉病	
カリグリーン溶	NC		1	-													◎					
I Cボルドー412FL	M1		-	-		◎	◎	◎					◎	◎				◎				
Zボルドー水	M1		-	-							◎	◎										
クプロシールドFL	M1		-	-							◎	◎										
コサイド3000DF	M1		-	-		◎	◎				◎	◎	◎									
イオウFL	M2	*p	-	-		◎												◎				
クムラス顆水	M2		-	-														◎				
コロナFL	M2		-	-														◎				
石灰硫黄合剤	M2		-	-									◎					◎				
		*b	-					◎												◎		
		*o	-																		◎	
トップジンM水	1		1	6		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		◎		
		*c	1												◎							
		*f	1													苗						
トップジンMペースト	1	*e	3										◎						◎			
ベンレート水	1		1	4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		◎		
		*j	-													苗						
プロパティFL	50		3	2														◎				
アフェットFL	7		1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎				
カナメFL	7	劇	1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎				
バレード15FL	7		1	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		◎		
フルーツセイバーFL	7		1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎		◎		
スクレアFL	11		1	3			◎					◎	◎					◎				
ストロビーDF	11		1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎			
ファンタジスタ顆水	11		1	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎			
フリントFL25	11		1	4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎			
フロンサイドS C	29		45	1		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
		*k	1												苗	苗						
		*L	1												苗	苗						
フルピカFL	9		21	5		◎	◎					◎					◎					
ユニックス顆水47	9		14	4		◎	◎	◎				◎					◎					
スミレックス水	2		90	4								◎										
ロブラール水	2		14	5		◎																

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	赤衣病	赤星病	斑点落葉病	褐斑病	黒星病	黒点病	すすり病	すすり病	モニリア病	輪紋病	白紋病	紫紋病	うどんこ病	炭疽病	腐らん病	灰色かび病	銀葉病	
ロブラール500アクアFL	2		14	5		◎																
フジワン粒	6		*a	2											◎							
リゾレックス水	14		60	1												◎						
アンビルFL	3		7	3	◎	◎	◎	◎					◎				◎					
インダーFL	3		14	3	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎					
オーシャイン水	3		7	5	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎					◎					
オーシャインFL	3		7	5	◎			◎				◎					◎					
オンリーワンFL	3		7	3	◎	◎	◎	◎	◎			◎					◎			◎		
サンリット水	3		7	3	◎	◎	◎	◎				◎					◎					
スコア顆水	3		14	3	◎	◎	◎	◎	◎			◎					◎					
トリフミン水	3		1	3	◎	◎		◎									◎					
マネージDF	3		21	3	◎			◎									◎					
ルビゲン水	3		30	3	◎			◎									◎					
ポリオキシシナL水	19		3	3	◎		◎	◎									◎					
アリエッティ水	P7		1	3		◎	◎			◎	◎											
オキシンドー水80	M1		14	4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					
キノンドーFL	M1		14	4		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎				◎					
ドキリンFL	M1		14	4		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎				◎					
バッチレート塗	M1		*n	3	◎														◎		◎	
アントラコール顆水	M3		45	4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					
ジマンダイセン水	M3		30	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					
チオノックFL	M3		30	5		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					
トレノックスFL	M3		30	5		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					
ペンコゼブ水	M3		30	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					
オーソサイド水80	M4		1	6		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					
ダコニール1000FL	M5		45	3		◎		◎				◎										
パスポート顆水	M5		45	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					
ベフラン液25	M7	劇	1			◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎									
			*i	*g				◎			◎							◎		◎		
			*o																		◎	
*f	-															苗						
バルクートFL	M7		1	*g		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
デランFL	M9	劇	60	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	赤衣病	赤星落葉病	斑斑病	褐星病	黒点病	すすり病	すすり斑病	モニリア病	輪紋羽病	白紋羽病	紫紋羽病	うどんこ病	炭疽病	腐らんび病	灰色葉病	銀葉病
ストライド顆水	M11		*d 3 *h 2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎			
アカリタッチ乳	-		1 -												◎				
フーモン乳	-		1 -												◎				
ラビライト水	1・M3		30 1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎		
ナリアWDG	7・11		1 3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎		
オルフィンプラスFL	7・3		7 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎			◎	
セルカディスDFL	7・M9	劇	60 3	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎			
パンチョTF顆水	3・U6		7 2												◎				
アスパイア水	3・M3		30 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
スコアMZ水	3・M3		30 3	◎	◎		◎	◎							◎				
テーク水	3・M3		30 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ブローダ水	3・M3		30 3	◎	◎		◎	◎		◎					◎				
ポリバリン水	19・M7		3 3		◎	◎	◎		◎	◎					◎				
アリエッティC水	P7・M4		1 3		◎	◎	◎		◎	◎	◎					◎			
オキシラン水	M1・M4		14 4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎			
ビオネクトFL	M1・-		14 4		◎	◎	◎		◎	◎	◎					◎			
ダイパワー水	M4・M7		1 *g		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				

*a:落花直後まで *b:発芽前 *c:休眠期～生育期 *d:開花～収穫前日まで
 *e:剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後(ゆ合促進) *f:植付前
 *g:6回以内(但し開花期以降散布は3回以内) *h:開花前まで
 *i:展葉期 *j:植付直前 *k:植付時 *l:植付後(但し収穫開始1年前まで)
 *n:剪定時及び病患部削り取り直後(ゆ合促進)
 *o:休眠期 *p:発病前～発病初期 苗:苗木

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	アブラムシ類	リンゴタムシ類	カイガラムシ類	ケムシ類	シンクイムシ類	モシメシクイガイ	ナシホシモンクイ	キンモンハモグリガ	ハマキムシ類	シヤクトリムシ類	スカタシバトウ	ヒメボクキリゾウムシ	モモチヨツキリゾウムシ	カミキリムシ類	ハミキリムシ類	リンゴサビダニ	その他害虫
スピノエースFL	5		3	3					◎	◎	◎										
コロマイト乳	6		1	1	ユ						◎								◎◎		
エスマルクDF	11A		*c	-				◎					◎◎								
デルフィン顆水	11A		*c	-				◎					◎◎								
バシレックス水	11A		*c	-				ケ					◎								
ファイブスター顆水	11A		*c	-				◎					◎◎								
スプレーオイル	UNM		*j	-		◎														越◎	
ハーベストオイル	UNM		*d	-																◎	
サンクリスタル乳	-		1	-																◎	
バイオセーフ	-		*i	-											◎						
ハマキ天敵	-		*e	-										リ							
オリオン水40	1A	劇	1	2	◎	◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎								オ
サイアノックス水	1B		14	1	◎◎	ク◎	◎	◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎								オ
シミチオン水40	1B		30	3	◎	ク◎	◎		◎			◎◎									ス
シミチオン乳	1B		30	3	◎	ク	ア	◎◎	◎◎			◎									グ
ダイアジノン水34	1B	劇	30	4	◎◎	若	モ	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎フ			ゾ						グ
マラソン乳	1B		14	*f	◎◎◎				◎◎	◎◎	◎◎	◎								◎	
キラップFL	2B		14	2	◎		◎		◎	◎◎	◎◎										
MR. ジョーカー水	3A		14	2			◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									
アークリン水	3A		14	3					◎	◎◎	◎◎	◎◎									
アーデントFL	3A		1	3	◎		◎		◎◎	◎◎	◎◎									◎	
アディオン水	3A		14	2	◎				◎◎	◎◎	◎◎	◎◎					◎				
スカウトFL	3A	劇	1	5	◎		◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									
テルスター水	3A		1	1	◎					◎◎	◎◎	◎◎									な
マブリック水20	3A	劇	30	2	◎			ヒ◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎					◎				な
マブリックEW	3A	劇	30	2	◎			ヒ◎	◎		◎						◎				
ロディー水	3A	劇	1	2	◎		◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									な
ロビンフードエアゾル	3A		1	5											◎◎	◎◎	◎				
アクタラ顆溶	4A		7	2	◎◎	コ◎			◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									
アドマイヤー顆水	4A	劇	*b	2	◎◎	◎					◎◎	◎◎									
アルバリン顆溶	4A		1	3	◎	コ◎			◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									
スタークル顆溶	4A																				
ダントツ溶	4A		1	3	◎◎	コ◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									こ

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用回数	使用回数	アブラムシ	リンゴタムシ	カイガラムシ	カメムシ	ケムシ	シモンクイムシ	モシメシムシ	ナシホシムシ	キンモンホソ	ギンモンハモグリ	ハマキムシ	シヤクトリムシ	スカタシバト	ヒメボクク	モモチヨツキリゾウムシ	カミキリムシ	ハミダニ	リンゴサビダニ	その他害虫
バリアード顆水	4A	劇	1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎				ギ
トランスフォームFL	4C		1	3	◎	◎	◎	ミ															
ディアナWDG	5		1	2					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヨ							ガ
デリゲートWDG	5		1	2					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヨ							ガ
コルト顆水	9B		1	3	◎	◎	◎																
ニッソラン水	10A		7	2																			な
バロックFL	10B		14	2																			な
オマイト水	12C		3	1																			◎
コテツFL	13	劇	1	2									◎		◎	ヨ							ナ ◎ み
アタブロンSC	15		7	4				◎							◎	ヨ							
カスケード乳	15		14	2									◎	◎	◎	ヨ							な
ノーモルト乳	15		1	2				ヒ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヨ							
マッチ乳	15		14	3											◎	◎							
アブロードFL	16		30	2			幼																
ファルコンFL	18		21	3				◎					◎		◎	ヨ							
マトリックFL	18		14	2				◎							◎	ヨ							
ロムダンFL	18		1	2				◎							◎	◎							ガ
カネマイトFL	20B		7	1																			な
マイトコーネFL	20D		1	1																			な
サンマイト水	21A	劇	21	1																			な ◎
ダニトロンFL	21A		30	1																			な ◎
ピラニカ水	21A	劇	14	1	ユ																		◎ ◎
ダニゲッターFL	23		1	1																			な ◎
モベントFL	23		14	3	◎	◎	◎																◎ ◎
スターマイトFL	25A		1	1																			◎
ダニサラバFL	25A		1	2																			◎
ダニコングFL	25B		1	1																			◎
エクシレルSE	28		1	3				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヨ		◎					ボ
サムコルFL10	28		1	3				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヨ		◎					オ
テッパン液	28		1	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					ボ
フェニックスFL	28		1	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヨ		◎					オ
ヨーバルFL	28		1	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ヨ		◎					ボ
ウララDF	29		14	2	◎	◎																	

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア	リ	カ	ケ	シ	モ	ナ	キ	ギ	ハ	シ	ス	ヒ	モ	カ	ハ	リ	そ	
					ブ	ゴ	メ	ム	ン	シ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ダニオーテFL	33		1	1																			◎
アカリタッチ乳	-		1	-																			◎
フーモン乳	-		1	-																			◎
トラサイドA乳	1B・ 1B		*a *h	3																			◎

*a:産卵初期～産卵最盛期直前(但し収穫30日前まで)

*b:収穫3日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

*c:発生初期(但し収穫前日まで)

*d:芽出し直前直後又は展葉期(発芽後2週間まで)又は展葉期(発芽後3週間まで)

*e:発生初期 *f:5回以内(但し休眠期から芽出し直後までは1回以内)

*h:4～7月(但し収穫30日前まで) *i:幼虫発生期 *j:発芽前

ア:アメリカシロヒトリ

オ:オオタバコガ

カ:ハマキムシ類(コカクモンハマキを除く)

ガ:キリガ類

キ:キクイムシ類

ギ:キリガ類及びコガネムシ類成虫

ク:クワコナカイガラムシ

グ:ナシグンバイ

ケ:アメリカシロヒトリ及びヒメシロモンドクガ

コ:コナカイガラムシ類

ス:リンゴススムシ

ゾ:リンゴハナゾウムシ

ナ:ナミハダニ

ヒ:ヒメシロモンドクガ

フ:リンゴフユシヤク

ボ:オオタバコガ及びコガネムシ類

ミ:コアオカスミカメ

モ:モンシロドクガ及びアメリカシロヒトリ

ユ:ユキヤナギアブラムシ

ヨ:ヨモギエダシヤク

リ:リンゴコカクモンハマキ

コ:コガネムシ類成虫

ナ:ナミハダニ及びリンゴハダニ

ミ:ミノガ類

越:ハダニ類及びハダニ類の越冬卵

若:クワコナカイガラムシ及びオオワタコナカイガラムシの若齢幼虫

幼:幼虫

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
赤星病	開花直前～ 6月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 オンリーワンフロアブル● 2000倍 ジマンダイセン水和剤 500～600倍 スコア顆粒水和剤● 3000～4000倍 トレノックスフロアブル 500倍 	病原菌はビャクシン類で越冬し、翌春の第一次伝染源となる。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
斑点落葉病	5月下旬 (落花10日後)～9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アリエッティC水和剤 800倍 アンビルフロアブル● 1000倍 キノンドーフロアブル 800～1000倍 ストロビードライフフロアブル● 1500～3000倍 トレノックスフロアブル 500倍 フロンサイドSC 2000～2500倍 ベルコートフロアブル 1000～1500倍 ポリオキシシンAL水和剤 1000倍 	前年の被害落葉が重要な伝染源となる。 デリシャス系の品種で9～10月に大発生することがあるので注意する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
炭疽病	6月～収穫期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アリエッティC水和剤 800倍 オキシラン水和剤 500～600倍 キノンドーフロアブル 800～1000倍 ストライド顆粒水和剤 1500倍 ストロビードライフフロアブル● 2000～3000倍 デランフロアブル 1000～2000倍 	6月中旬～7月中旬が重点防除時期である。 高温多湿の年に発生が多い。 被害果の処分を徹底する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
白紋羽病	植付前 (苗木)	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかに根部を浸漬する。 トップジンM水和剤#1 500倍液 ベンレート水和剤#2 1000倍液 	#1 10分間 #2 10～30分間
	休眠期	<ul style="list-style-type: none"> 根を露出した後、病患部を削りとり、次の薬剤のいずれかを土壌灌注する。 トップジンM水和剤 500～1000倍 フロンサイドSC 1000倍 100～200ℓ/樹 500倍 50～100ℓ/樹 	

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
紫紋羽病	苗木植付前	・植付前に次の薬剤に根部を浸漬する。 ベフラン液剤25 250倍	
	生育期	・次の薬剤のいずれかを土壌灌注する。 リゾレックス水和剤 1000倍 40ℓ/樹 フロンサイドSC 1000倍 100～200ℓ/樹 500倍 50～100ℓ/樹	
うどんこ病	6月上旬～9月下旬	1. 被害新梢、被害花(葉) そうを摘みとる。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ポリベリン水和剤 1500倍 ポリオキシシAL水和剤 1000倍 アンビルフロアブル● 1000～2000倍 ストロビードライフロアブル● 3000倍 トリフミン水和剤● 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍	芽に潜伏する越冬菌糸が伝染源となる。台木にも発生が多いので注意する。 ●耐性菌を生じやすいためで連用しない。
アブラムシ類 (リンゴコブアブラムシ・ユキヤナギアブラムシ)	4月中旬～6月中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオオン水和剤 2000～3000倍 スミチオン乳剤 1000～2000倍 テルスター水和剤 1000倍 マブリック水和剤20 2000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍	
リンゴワタムシ		・次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤー顆粒水和剤*a 5000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍	*a露地栽培については発芽期から開花期を除く
クワコナカイガラムシ	冬期 6月上～下旬	・粗皮削りを行う。 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 アルバリン顆粒水溶剤#1 2000倍 サイアノックス水和剤 1000倍 スタークル顆粒水溶剤#1 2000倍 スミチオン乳剤 1500倍 ダイアジノン水和剤34#2 1000～1500倍 モスピラン顆粒水溶剤#3 4000倍	#1コナカイガラムシ類での登録 #2若齢幼虫に適用 #3カイガラムシ類での登録

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
カメムシ類	6～7月	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1000倍 MR. ジョーカー水和剤 2000倍 	
ナシゲンバイ	8月上旬～中旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤 1000倍 ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍 	
シンクイムシ類		<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 サイアノックス水和剤 1000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 ヨーバルフロアブル 5000～10000倍 	
モモシンクイガ		<ol style="list-style-type: none"> 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1200倍 ダイアジノン水和剤34 1000倍 テルスター水和剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000～4000倍 	<p>樹冠が混み合って風通しが悪くなると発生しやすい。 *果樹類での登録 昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。</p> <p>#シンクイムシ類での登録</p>
ナシヒメシンクイ	6月下旬	<ol style="list-style-type: none"> 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 次の薬剤を散布する。 ダイアジノン水和剤34 1000倍 	<p>*果樹類での登録 昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。</p>
ギンモンハモグリガ	6月下旬 8月上旬中旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1000倍 テルスター水和剤 1000倍 ノーモルト乳剤 4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍 ヨーバルフロアブル 5000～10000倍 	

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハマキムシ類(ハマキガ類)	整枝剪定後(冬期)	・剪定枝は越冬幼虫や卵がついているので、萌芽までに処分する。	* 果樹類でリンゴコカクモンハマキ、リンゴモンハマキ、ミダレカクモンハマキに登録昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。
	4月下旬～9月下旬	1. 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン水和剤 2000倍 サイアノックス水和剤 1000倍 スピノエースフロアブル 2000～3000倍 スミチオン乳剤 1000倍 ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍 テルスター水和剤 1000倍 ファイブスター顆粒水和剤 2000～3000倍 マトリックフロアブル 1000～2000倍	
モモチヨッキリゾウムシ	落花直後	・次の薬剤を散布する。 アディオン水和剤 2000倍	
カミキリムシ類	6～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)	・次の薬剤を樹幹部に十分散布する。 トラサイドA乳剤 200倍	
ハダニ類(リンゴに加害するハダニ類にはナミハダニとリンゴハダニが含まれる。リンゴサビダニの登録は別であることに注意)	4月中旬～5月中旬	・次の薬剤を散布する。 ダニトロンフロアブル#1、#2 1000～2000倍	4月中旬はハダニの第1回発生期に当たるので注意する。 殺ダニ剤は、同種のもを続けて使用しない(ハダニ類防除薬剤の項参照)。 #1リンゴサビダニには2000倍で登録 #2ナミハダニおよびリンゴハダニでの登録
	7月上旬～8月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 カネマイトフロアブル#2 1000～1500倍 ニッソラン水和剤#2 2000～3000倍 バロックフロアブル#2 ナミハダニ 2000倍 リンゴハダニ 2000～3000倍 マイトコーネフロアブル#2 ナミハダニ 1000～1500倍 リンゴハダニ 1000倍	
その他の病害虫		リンゴスガ、サビダニ類、シャクトリムシ類	